

2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	炭素収支と資源利用小委員会		主 査 名：漆崎 昇 就任年月：2009 年 04 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境本委員会		委員長名：稲田 達夫
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2011 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 炭素収支を盛り込んだ各種建材のマテリアルフローの作成 (2009 年度・2010 年度) ・ 炭素固定継続時間を評価した地球温暖化防止効果に対する基本的な指標・考え方の整理。(2009 年度・2010 年度) ・ 炭素収支という視点から、地球温暖化対策を実現するための資源利用のあり方に関する提言取りまとめ (2009 年度・2010 年度) 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有り		
	漆崎 昇 (大林組)、田村雅紀 (工学院大学)、外崎真理雄 (森林総合研究所)、石川嘉崇 (電源開発)、古賀純子 (建築研究所) 小林 均 (エックス都市研究所)、竹尾健一 (大成建設)、恒次祐子 (森林総合研究所)、中島史郎 (建築研究所)、中島裕輔 (工学院大学)、藤田正則 (山口大学)、山畑信博 (東北芸術工科大学)、吉田倬郎 (工学院大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	炭素収支データ作成 WG 目的：マテリアルフローを作成した建材の生産に関する CO2 排出量、建材として固定している炭素量、耐久性など、炭素収支を計算する上で必要なデータを収集する。		
2009 年度予算	85,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	9 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	塩ビの LCA、アルミサッシの CO2 排出量、石膏ボードの環境影響フィットプリント、建設資材の CO2 排出量、木質材料の製造エネルギー・CO2 排出量原単位などマテリアルフローの基本データの収集を行った。また、木材利用による CO2 削減効果の評価を行うなど、当初の活動計画通りの成果が得られている。
委員会活動の問題点 ・課題	特になし

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。